



小中一貫校 南アルプス市立



白根飯野小学校 学校だより

令和5年10月25日 文責 河住悦久

心を一つにして取り組んだ運動会

秋晴れの中、令和5年度の白根飯野小学校の運動会を無事に実施することができました。子供たちは、運動会の取組を通して、仲間と心を一つにして取り組むことへの喜びや大切さを学ぶことができたように思います。人数制限のない中、多くの方々にご観覧いただき、皆様からの心温まる大きな拍手に、子供たちは大きな達成感を得ることができたのではないかと感じています。

今年度の運動会は、子供たちの体力、授業時間の確保、熱中症に対応をした練習時間等を考慮に入れた計画を立て、開催時刻を早める中で、これからの運動会の在り方を考えた半日開催の運動会を実施しました。いかがだったでしょうか。保護者の皆様からのアンケートでは、子供たちの頑張りに心温まる励ましの感想とともにいい運動会であったとの感想を数多くいただきました。ありがとうございます。アンケートでお寄せいただいたご感想、意見等につきましては、今後の運動会の運営に役立てていきたいと思っています。

PTA 役員の皆様には準備、駐車場の旗振りや終了後の片付け等、様々な面でご協力をいただきました。保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



道徳の授業参観・教育講演会

10月6日(金)に地域ふれあい道徳授業参観と教育講演会を行いました。本校では「相手の気持ちが思いやれる子ども」の育成を学校教育目標の一つに掲げ、学校教育全体を通して道徳教育に取り組んでいます。学校の道徳では、「自分に関すること」、「人の関わりに関すること」、「集団や社会に関すること」、「生命や自然、崇高なもののかかわりに関すること」の内容を「親切」「感謝」「礼儀」「友情や信頼」「公正や公平」「命の尊さ」等をテーマに取り上げながら子供たちに考えてもらうための授業を行っています。今回の授業参観では普段行っている道徳の授業の様子を保護者の皆様にご参観いただきました。

子供たちの豊かな心の育成は、学校教育だけでできるものではありません。「地域の子供は、地域で育つ。」と昔から言われています。児童の豊かな心の育成は、それぞれのご家庭を基盤に、学校と地域が連携して行われるものだと思います。学校で道徳の授業が行われた際にはぜひご家庭でも学校の授業の内容をもとにして、食卓の話題等にしてほしいと思います。今回の授業参観・教育講演会をそんなきっかけにさせていただけたら幸いです。



小中一貫教育 陸上記録会の練習に巨摩中学校の先輩が指導に 来てくれました。

10月19日(木)八田、白根、芦安地区の6校の6年生が一堂に会しての陸上記録会に参加しました。6年生のそれぞれの子供たちは自分と向き合い、自己の記録の更新を目指して懸命に取り組んでいました。

2週間の練習の取組の中で、今年度も白根巨摩中学校と連携し、1日ですが白根巨摩中学校の陸上部の先輩、体育の先生方が、小学校に出向いて、各種目の専門的な指導をしてくださいました。中学生の先輩の礼儀正しさ、後輩のために熱心に指導をしてくれる姿に6年生の子供たちは競技の技術だけでなく、多くのものを学んだように見えました。中学校との連携は小中一貫教育の連携の一つです。今後も中学校生徒会と連携したあいさつ運動、小中合同合唱交流会を行っていく予定です。



下校後の安全指導をよろしくお願いします。

日没の時間が日ごとに早くなっています。暗くなってからの児童の一人歩きや自転車の運転などに特に注意が必要な時期となってきました。ぜひ、ご家庭でも児童が事件や事故に巻き込まれないように下校後の安全についてご指導をよろしくお願いします。

下校は寄り道をせずまっすぐ家に帰ることや、遊びに出掛けた際の場所、帰宅時間の確認をする等、ご家庭での約束を再確認し、事故の発生を未然に防ぐための安全指導をよろしくお願いいたします。

これまでも何度もお伝えしておりますが、自転車に乗る際はヘルメットを着用することが義務付けられています。ヘルメットの着用とともに道路では急な飛び出しをしないで安全確認を行うこと等、自分の命を守るための自転車の乗り方、交通安全等についての安全指導を是非ご家庭におかれましてもよろしくお願いします。



その言葉遣い、大丈夫？

放課後も含め、子供たちの生活場面で、トラブルの原因の大きな1つが言葉遣いです。何気ない一言が相手を怒らせたり、不愉快な思いをさせたりしてけんかになることがとても多いように思います。ネタと称してテレビやSNSの動画の世界の言葉をそのまま使って人をいじったり、ふざけ合ったりする場面も見られます。学校生活の中では、コミュニケーションの基本である相手を尊重したあいさつや丁寧な言葉遣いでの対応と指導をしていますが、子供たちの言葉遣いはなかなか身につけていけないのが現状です。日頃からご指導いただいているとは思いますが、あいさつや言葉遣いについて、ご家族で一度、ゆっくりと話し合ってみられてはいかがでしょうか。

私たち大人は、子供たちの心を癒やしたり、子供たちに勇気が出たりするような言葉遣いや言葉かけをしているのでしょうか？大人は子供の人生の先輩であり、背中で子供を育てるモデルです。まずは、私たち大人があいさつや言葉遣いについて考えていく必要があります。

